

平成29年度 第10回 災害時リハビリテーション支援研修会

# 東日本大震災から学ぶ 在宅避難者への支援

**日時** 平成30年3月11日（日） 10:00～15:00  
(9:30より受付)

**会場** 大阪医科大学（本部北キャンパス）看護学部大講堂  
高槻市大学町2番7号

**参加費** 500円

**参加資格** 特になし。定員（200名）になり次第、締め切らせていただきます。

## 講演1 富岡 正雄（大阪医科大学 救急医療部 准教授）

災害時の避難所や自宅での避難生活について問題点を解説します。

## 講演2 佐浦 隆一（大阪医科大学 リハビリテーション科 教授）

重度身体障がい児・者の平時の在宅での生活や支援について解説します。

## 講演3 木村 文治（大阪医科大学 神経内科専門教授 難病総合センター長）

ALSなど神経難病患者の平時の在宅での生活や支援について解説します。

## 講演4 工藤 尚哉（塩釜市立病院 リハビリテーション科）

平成23年3月11日の東日本大震災、私は宮城県の女川町で被災しました。その時、私は訪問リハビリで海沿いのお宅を訪問していました。津波が押し寄せてくる限られた時間の中で利用者さんと家族と自分だけ。相談できる人が少ない環境の中で、自分はどう動くべきか？逃げるのか？その場に利用者さんと共に留まるのか…？

想像を絶する大地震と大津波に遭遇した時、訪問に出ている我々は、瞬時にどのような行動がとれるのだろうか？これは、マニュアルにできない、答えのない難しいテーマではないでしょうか？あの未曾有の大震災の中で、私がとった行動をみなさんに伝えたいと思います。

## 昼食（13時～14時頃）各自でご用意ください。ただし大講堂内では飲食できません。

フロアにて災害時に使える機器を展示し紹介します。

## 講演5 亀野 敏志（日本福祉用具供給協会（日進医療器 所属））

災害時における福祉用具の重要性と供給について、わかりやすく解説します。

実際、災害時には時間とともに必要な用具が変わってきます。その例も交えて説明します。また、避難に使用できる福祉用具も紹介いたします。

お申込み  
お問い合わせ

**MAIL** saigaireh.leader2014@gmail.com

**URL** <https://saigairehleader201.wixsite.com/saigaireha>

**TEL** 072-684-6510（月、水、金 10時～16時）

**FAX** 072-684-6336

大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会 事務局  
(大阪医科大学リハビリテーション医学教室内)

主催：大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会

協力：大阪医科大学リハビリテーション医学教室、大阪JRAT

助成：公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団

